

高知県は他の県にない強みがいくつかあります。第1に食べ物がおいしいという強みがあります。「何だ、そんなことか」と思うかもしれませんが、これは生活面における総合力のようなことです。一次産業で良い物が取れ、それを上手に調理する方法がありますね。そして、楽しく食べさせる文化があります。これが全国でも高知県はトップクラスに達しています。いろんな雑誌のアンケートで、旅行客の皆さんに、「行った観光地で食べ物が一番おいしかったところはどこですか」って聞くと、高知県はいつも1位か2位になります。今後、強みを生かして産業振興をしようとしたとき、やっぱり一次産業を大切にしていこうじゃないか。更に一次産業で出てきた物を加工食品にして、全国に打って出ていけば受けるんじゃないか。一次産業、食品加工業、更にパッケージを作るデザイン業、物流業、卸売業、こういうところの裾野を広げていければ、高知県の強みを発揮して、他の県にも負けないんじゃないかということが分かってきます。

そして、観光地として魅力を持っています。自然がたくさん残っていることが非常に珍しい。高知県は森林面積割合が84%と全国第1位で、そのうえ海に面している県です。日照時間や降雨量が全国第1位ということがよくあります。たくさん雨が降って、山に入り、そのまま海に流れ下っていくような地形になっているので、美しい清流、四万十川や仁淀川が未だに残っている。単に汚すところがないから川がきれいというだけではなく、地形的な特性もあって、大規模だけどきれいな川が高知県にはまだまだ残っています。山からミネラルを含んだ水が海に流れ込んでいく、だから海も豊かで、おいしい魚もたくさん捕れたりします。グランドキャニオンとか、大雪山みたいに大規模な構造物のような自然を持っているわけではありません。けれども、人の生活に密着する清流や、美しい森、そして美しい海が高知県の自然の特徴です。

もう一つは、79万人しか人口のいない県ですが、非常に輝かしい歴史を持っている。戦国時代の長宗我部の歴史、山内一豊以降の歴史、そして坂本龍馬に代表される幕末維新の歴史。未だに、上司にしたい歴史上の人物ナンバー1が坂本龍馬だったり、いろんな形で坂本龍馬の順位は織田信長と並んで常に上位にあります。これだけ素晴らしい先輩を持っている県というのも、実は日本の中でもそんなにありません。「高知県といえば坂本龍馬」ってパッと出てくるような先輩を持っていることは、かけがえのない強みです。来年、大河ドラマ「龍馬伝」で高知県も沸き立ちます。これを生かして観光振興ができると考えられます。

アイデアの豊富な人が多いという点においても、高知県は結構なものだと思います。例えば、よさこい祭りは全国220箇所で開催されています。残念ながら、よさこい祭りを北海道のお祭りだと思っている人が結構いますが、あれは高知県のお祭りだということが浸透するようになってきた。地場で行われている祭りが全国で通用するのは徳島県の阿波踊りとよさこい祭りです。こういうものを持っ

ていることも、また強みだと思います。

今、この強みに対して、いろんな追い風が吹いています。例えば食べ物の分野については、中国の餃子事件で、餃子の中に農薬がたくさん使われている野菜が入っていて、大変なことになった。ああいう問題も起きて、自分たちが何を食べているのか分からなくなってきた。そういう中で、自然の中でできるだけ農薬を使わないような育て方をして、しかもそれが国産でどこで作ったか分かるような安全・安心でおいしい食べ物を多くの国民が求めるようになってきて、少々高くてもそういう物を買おうという時代になってきています。本当においしいナスとかピーマンなど、素晴らしい一次産品を作ることができる高知県には非常に追い風です。

皆さんは食べ物に困ること、少なくとも飢えることはないでしょう。日本は食糧自給率が40%しかなく、自前では40%しか調達できないのに、飢えることがないのはなぜか。食料が外国からいくらでも調達できるからです。でも、その状況が20年後も続いているかは分かりません。中国やインドなどのいわゆる途上国と言われた国々がお金持ちになってきています。だから、外国で作った物が日本に回ってこないという時代が来るかもしれない。その証拠に、最近牛に食べさせる穀物の値段がどんどん上がっています。

だから、日本全体の目標として重要なことは、食料をできるだけ自給することです。その点においても一次産業は今後有望な産業です。多くの国は、できるだけ自分で食料を作ろうとしてきた。ただ日本は加工貿易立国ということで、農業をどんどん止めてしまって、輸入した物を加工して外に売っていく方法で儲け、そこで稼いだお金で食料を輸入して暮らしてきました。しかし、2000年に近い日本の歴史の中でもそうやって暮らしてきたのは、戦後60年ぐらいにしか過ぎません。

産業の振興を図っていこうとするときには、高知県の強みであり追い風が吹いている一次産業を基軸にし、そして自然や歴史の観光業を主軸にするのが、こちらの考え方です。